

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立新居浜特別支援学校
学校番号 (54)

評価実施日

令和4年2月16日(水)

委員	氏名	所属等	備考
	大江 真輔	社会福祉法人 わかば会 障がい児者相談支援事業 相談支援専門員	
	大西 悦子	絵手紙サークル「ゆめの会」代表	
	佐々木 龍	新居浜医療福祉生活共同組合理事長	
	豊田 昭男	新居浜市社会福祉協議会	
	三並 保	新居浜市中萩校区連合自治会(会長)	
	木村 絵理子	P T A会長	
	工藤 あづさ	P T A副会長	
	横井 美千代	P T A副会長	
	向井 英美	P T A副会長	
	室塚 麻美	P T A副会長	
	角 理恵	P T A副会長	
	松本 依子	P T A副会長	

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

1 今年度の最終評価について

(1) 学習指導

I C T機器を利用した教材等を活用することで、子ども一人一人のスキルアップを目指すことは、近年の教育ニーズに合致した画期的な取組だ。

- デジタル教材を利用した教材・教具の長所や短所を研究していく。その中で、従来の教材・教具も見直し、児童生徒に応じた教材研究の充実を図っていきたい。

(2) 児童生徒会活動

昨年度と比べて評価が低くなっている。保護者に実態が見えにくい状態になっている。情報発信を工夫していくとよい。

- 学級通信やホームページでの発信などの際に、活動内容について写真と合わせてねらいや様子を書くようにする。動画配信など情報発信の方法についても工夫をしていく。

(3) P T A活動

コロナ禍により実施できないことから評価が大幅に低下している。P T A活動の新しい活動の形を考えるとよい。

- P T A活動をより一層深める具体的な工夫をして、P T A行事への関心を向上させ、一人一役運動の推進を継続して取り組むようにする。

(4) 進路指導

卒業生の進路先も広がっていけるよう指導をお願いしたい。

- ハローワークから実習の受入れや就職等の情報を提供していただいている。これらの情報を就労につなげていきたい。企業が求める力を育成するよう取り組んでいく。

2 学校運営への提言

- (1) 様々な理由で登校が難しい児童生徒に対して、ICT機器を活用して授業等が行われるとよい。
- (2) 新型コロナウイルスの影響で行事等が急に変更になることがある。そのことで混乱や不安になる児童生徒もいる。わかる範囲で早めに知らせてほしい。
- (3) 技能検定の内容について、具体的にどのようなことをするのか提示すると、自分にできそうなものを選べるのではないかな。

- ・今年度は、児童生徒に一人に一台タブレット端末が配備された。今後ICT教育の推進がスピードアップされることを受け、これらの機器の特徴を知り、ICT機器を実践に生かせるように研究に取り組んでいく。
- ・児童生徒が見通しを持ち、安心して行事等に取り組めるよう変更を含めた行事計画を早めに行い、学級通信等で伝えていきたい。
- ・技能検定の内容に関して、実演したり技能検定の様子を動画で示したりして生徒に分かりやすく伝えていきたい。